

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】teacup_byGMOのサービス終了について

<思いやりのあるコミュニティ宣言>
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

[\(詳細\)](#)

 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

URL

[[ケータイで使う](#)] [[BBSティッカー](#)] [[書込み通知](#)] [[検索](#)]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [[その他](#)]

検索

《前のページ

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: お！！ 食いつきました。 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 5月22日(木)22時40分53秒

[返信・引用](#)

旭橋、ホントにいつ何度見てもいい橋ですねえ・・

私が幼い頃この橋は銀色に輝いていてそれが旭橋なんだと疑いませんでした。

旭川を離れてるうちに肌色とでも言いますか何とも趣味の悪い色になっていて、しばらくは「こんなの旭橋じゃねえ！」と思ったものです。今考えるにあの頃の色を選んだ人の色彩感覚というものを疑います。

その後は本来のグリーン系に戻されてますがちょっと青っぽい色が多いですね。今のオリーブ色はけっして嫌いではないのですがちょっとくすんだようで薄過ぎる気がします。資料を見ると当初の旭橋の色はかなり濃い色のようなのでね。

よもや銀色や肌色の間違いはもう2度とないとは思いますが、やはり当初に近い色に固定すべきだろうと思っています。

お！！ 食いつきました。 投稿者:IMAI 投稿日:2008年 5月21日(水)23時35分51秒

[返信・引用](#)

軍人勅諭が出てきて欲しいですね。

以前TV番組でも探してましたが・・・。

橋つながりで

今塗り替え作業をしていますが
先日現場監督さんに直接、色を聞きましたが
まだ検討中だが 2色にな事は決まっているそうです。

そんな話を聞きました。



とんでもない情報をゲット 投稿者:momonga 投稿日:2008年 5月20日(火)20時20分1秒

[返信・引用](#)

今回兵事記念館の情報を追ってる中でちょっとビックリの情報に出会ってしまいました。

戦前の旭橋に「忠節、礼儀、武勇、信義、質素」の軍人勅諭が掲げられていた事をご存知の方は多いかと思えます。当時旭橋を渡る人々はこの軍人勅諭綱要の書かれた旭日章に向かってまず一礼してから渡ったということですが、路面電車が通過する際にも車掌の「気をつけ！」という号令の下乗客は起立一礼したそうです。

その旭日章の銅(?)板ですが、戦後はもちろん撤去されたものの、その後いったいどこへ消え去ってしまったのかこれまた謎のままになっています。

現物は大きさにしても重さにしても相当なものでしょうから、橋からの撤去作業はもちろん、どこかへ運んで一時保管するにしても一般人の手には負えなかったはずで

そもそも誰の指示、手によって撤去されたのか？

現在旭橋の管理者である旭川開建や旭川市にもこの件に関する記録は一切残ってないようです。

とんでもない情報というのは、この旭日章が実は護国神社にあるというのです。この話を聞かせてくれたのは先日の書き込みの中で紹介した戦前の兵事記念館を実際に見た方で、実はこの方は元警察官でして、神社の警備をした際に神社関係者から直接この事を聞いたというのです。現職時代の話でしょうから少なくとも20数年あるいはそれ以上前の事になりますが、その時は「もうそろそろ出してもいいんじゃないか？」と助言までしたそうです。情報としてはたったこれだけの事ですが信憑性としてはかなり高いものがあります。

これが本当に本当であれば護国神社はすぐにでも公表すべきだと思います。この旭日章についてはかなり以前から事あるごとにその行方が話題になってますし、旭川開建や旭川市をはじめとする関係機関も情報提供を求めているはずで、広い神社のどこかにただ眠らせているのならさっさとこの歴史の証人を世に公開し、今は小型のレプリカを展示している北鎮記念館にぜひ本物を掲げるべく寄贈して欲しいと願うものです。
(法的な所有権がどこにあるのかは私も分かりませんが・・・)



Re: お久しぶりです^^ 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 5月15日(木)23時56分16秒

[返信・引用](#)

tomoさんさっそくのレスありがとうございます。

私も一点に絞ってこれだけ歩き回って調べたのは初めての経験ですが、まだまだ不明の部分が多いだけに消化不良の感があります。情報楽しみにしております。

何年も行ってませんが私も山菜採り大好き人間ですよ(^)v

お久しぶりです^^ 投稿者: tomo 投稿日: 2008年 5月14日(水)23時05分0秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

momongaさん 流石よく調べられましたね。特に、兵事記念館に関する事、そして今の北鎮記念館の所蔵品など、私が考えていたのと同じです。

・ ・実はこのことが言いたくて「書き込み」をしたのです。

話は変わりますが、今ちょっと調べていることがあります。まだお知らせするには、勉強不足ですので少々お時間を頂きたいと思います。

また、最近趣味の山菜採りで少々忙しくて^^ ;
すみません。

やはり行方不明(さらに続き) 投稿者:momonga 投稿日:2008年 5月14日(水)21時34分26秒

[返信・引用](#)

戦前の北鎮兵事記念館の所蔵品の行方についてここまで得られた情報から私なりに整理してみました。
乏しい情報ですのであくまで私の推論に過ぎません。

- ・兵事記念館には日露戦争を中心とした武具や戦利品、戦歴などを記す資料が所蔵展示されていた。

建物の威容に比べ展示品にあまり派手さはなく一般市民には意外と印象の薄いものであった。

- ・展示されてたとされる武器類については大物を中心に太平洋戦争中の金属供出により既に運び去られていた。

- ・師団や戦歴に関するものは勿論、文書書物類は仕分けされる事なく敗戦直後に師団関係者により総て廃棄された。

また書類以外の所蔵品についてはやはり師団関係者の関与の下で意図的に持ち去りを許された。

- ・残った所蔵品については管理不在となったその後の混乱の中で散逸したり、一部は進駐軍の手に渡った。

さらに引揚者が建物に入り込んだ事が散逸に追い討ちをかけた。

といったところでしょうか。 . . .

博物館学芸員の方が「兵事記念館にまつわる公文書類は戦後一切出てこない」「師団関連は借行社の凶面すら残っていない」「『第七師団歴史』が残ったのは本当に奇跡」

と言われていたのは、組織的に資料の一斉処分が行なわれたためと思われます。

と同時に、書類以外の所蔵品については処分に困った師団関係者が持ち去りをむしろ奨励したのではないか?という気がするのです。「欲しいものがあったら持ってけ!」という調子で . . .

もちろん大っぴらに広報したわけではなく口コミで伝わる範囲ですが。

兵事記念館には「一日(一夜)にして全てが消え去った」という逸話が残っていますが、

これら師団関係者による一斉処分は敗戦直後速やかにそしてかなり短時間で行なわれたはずであり、

「一日にして全て . . .」というのは大袈裟にしても、おそらくこれらの事を言い表しているものと思われます。

そうでもない限り敗戦時の一般市民が兵事記念館の所蔵品のような不要不急の物に群がるとはとても考えられません。

そんな中でステッセルのピアノのように運搬すら手に負えないような代物は残ったものと思われます。

私は進駐軍が旭川入りするまでの間よくぞ壊されもせず無事で済んだものだと感心しています。

またもし大砲などが終戦時にもあったとすれば当然こんな物こそ誰も持って行くはずもなく放置されていたはずで。

使おうと思えばまだ使えるピアノが残っていて既にガラクタでしかない大砲が消え去っていたのは、

やはりそれ以前に運び去られていたと考えざるを得ません。

私の推論が正しいか妄想に過ぎないかはともかく、

師団関係の資料の一斉廃棄が行なわれた事、所蔵品の多くが一斉廃棄と同時かごく限られた期間に散逸した事、

少なくともステッセルのピアノは進駐軍が来るまで残っていた事、の3点は事実と考えて間違いないと思います。

そしてこの事はこの時持ち去られた所蔵品が今後もどこかから出てくる可能性を秘めているわけで、

兵村記念館の館長さんも「それはあり得る」とおっしゃっていました。

私はもしかしたら現在の北鎮記念館へのこれまでの寄贈品の中には実は既にこれらが数多く含まれているのではないかと気がしてきました。北鎮記念館の見解では所蔵品の大半は戦後になってからの寄贈品ばかりという事ですが、仮に旧兵事記念館から一旦散逸した物が持ち込まれたとしても戦後になって寄贈された事に変わりはありません。また現在の北鎮記念館には個人からの寄贈と言うにはどう考えても無理がある銃器類を始めとした所蔵品が多数含まれています。これらはいったいどこから寄贈されたのか？これについては再度北鎮記念館にその寄贈元と出どころの可能性を確認してみる事にします。

たいへん長くなりましたので一旦区切る事にしますが、tomoさん、もしここまで何か別な情報お持ちでしたらお知らせいただければ幸いです。

やはり行方不明(続き) 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 5月13日(火)21時34分44秒

[返信・引用](#)

兵事記念館の所蔵品の行方について自分なりに整理しようともたついている間に、ステッセルのピアノの経緯について明確に記述されている著書に出会ってしまいました。

「旭川市史小話」という昭和39年発刊の著書で、著者の故村上久吉氏は最初の旭川市史や永山町史の編纂に携わった方でもあります。この著書は当時の旭川市広報に毎回連載中であつた歴史小話をまとめたものですが、既にほとんど盲目状態であり、余命も連載完結までに必要な10年はとても続かぬと悟った村上氏が前倒しで完稿させ1冊の本にしたものです。実に興味深い話題が満載ですが、他の話題は別の機会に譲るとして「ステッセル將軍夫人のピアノ」の記述の中から抜粋列挙します。

- ・ 日露戦争旅順攻撃で敗将となつたステッセル將軍は乗馬を乃木將軍に贈り、夫人は愛用のピアノを第七師団に贈つた。
- ・ 明治39年第七師団凱旋の時にこのピアノは持ち帰られた。旭川にもたらされた最初でただ1台のピアノであつた。
- ・ 旭川にピアノを弾ける人間などいなかったため、故永山武四郎將軍の嗣子である武敏氏の夫人に来てもらい初弾きしてもらつた。
- ・ 最初は軍人子弟の通う北鎮小学校に教授用として置かれたが、新しいピアノを備えたために北鎮(兵事)記念館に移された。
- ・ 敗戦後は進駐軍C I Cの手によって記念館から持ち出され米軍人の徒然に使用された。
- ・ 進駐軍引き揚げ後は商工会議所のところにあつたダンスホール「ロータリー」に置かれた。
- ・ 古くて修繕費がかさむため敬遠され昭和30年ころ料亭「いろは」のご主人渡辺要氏に身受けされた。
- ・ 同店でもやはり凶体が大きいため厄介視され、昭和36年9月古巣である博物館(当時兵事記念館の建物)へ寄贈された。

実に具体的で時期や実名も記されている事からほぼ正確な経緯と思われまふ。原文ではさらにエピソードなどが加えられています。もっともこれらは明治31年生まれの村上氏存命中の出来事ばかりですから、おそらく本人が直接見聞している部分が多かつた事でしょう。また兵村記念館や博物館にて伺つた話もこの著書の記述に照し合せると概ねブレはありません。このような著書があつた事を今まで見逃していた事が悔やまれます。これを機にまた中央図書館へ通うか古本屋巡りでもしようかと思つてます。

さらにもう一つ、戦前の兵事記念館へ行つた事のある方のお話を伺う機会がありま

した。
 実はこの著書もこの方からお借りしました。（調べたところ中央図書館にはあるようです）
 この方は戦前戦後を通じ春光町に居住され、旧制中学4年の時に終戦を迎えた方なのですが、
 大変残念ながら「色々展示物が並んでいたのは覚えているがほとんど記憶に残っていない」
 「大砲などは外に置いてあったんじゃないか？」とおっしゃっていました。
 若い時代に見たものに記憶が残っていないという事は展示物は意外と地味なものばかりだったのかもしれませんが。

さて、今回新たに得た情報を踏まえ、次レスにて自分なりに整理したいと思いません。

Re: 将軍山行ってきました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月12日(月)23時53分49秒

[返信・引用](#)

IMAIさん、いつもいつも情報ありがとうございます。

それにしても、週に2日間のみ開館とは・・・
 まったく思いも寄りませんでした。

Re: 将軍山行ってきました 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 5月10日(土)22時48分18秒

[返信・引用](#)

> [No. 82\[元記事へ\]](#)

お疲れさまです。

当麻町 郷土資料館に将軍山石碑の古い時代の写真も飾ってありましたyo。

> ゴールデンウィーク中にも関わらず「本日休館」のキャン・・・
 当麻町の郷土資料館は、毎週水曜日・日曜日のみ開館のようです。

ちなみに市内博物館も現在改装中で11月1日から営業です。

やはり行方不明 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月10日(土)14時06分32秒

[返信・引用](#)

旧兵事記念館の件で護国神社と兵村記念館へ行ってきました。
 唐突な訪問にもかかわらず護国神社では社務所におられた方が、兵村記念館では館長さんが対応して下さいました。
 兵村記念館へ行ったのは博物館の学芸員さんがこの館長さんが詳しいかもしれないと教えてくれたからです。
 最初に「個人的な趣味で戦前の兵事記念館の展示物の内容とその行方を調べている」旨尋ねたところ、
 いずれも観光客と勘違いされたのか「ああ、それだったら自衛隊の北鎮記念館がそうですね」と言われました（笑）
 突っ込んで事情を説明したところやはり「う～ん・・・」と首を傾げられました。

肝心要の護国神社でもその辺の事情を知る人は既におらず記録もないという雰囲気です、
 現在の記念館との関連についても「関係ないといえば関係ないかもしれませんね」といった感じです。

残念ながら自分が知っている以上の情報を得る事はできませんでした。
 戦前の展示物には日露戦争などで使用された武器や戦利品などと合わせ戦記などを記した書物もあったようです。

（対応された方は戦車もあったようだとおっしゃっていました）

兵事記念館の建物（現平成館）については、
 戦後GHQによる政教分離政策の下、宗教法人として国有財産であった敷地・神殿と共に払い下げを受けたとの事。

そしてその資金のほとんどは英霊遺族による寄付であった事を説明してくださいました。

やはり払い下げの時点で所蔵品は何も残っていなかったらしくその後旭川市に博物館として貸したそうです。

博物館移転以降は大きな祭事の時に開放する以外これといった用途には使っていないとの事です。

一方兵村記念館においても事情は概ね似たり寄ったりでしたが、たまたま居合わせたご年配の方のお話しと合わせちょっとヒントになりそうな情報が2つほどありました。
 1つはステッセルのピアノについて、経緯詳細は不明ながら戦後は学校やダンス教室で利用され、個人宅なども巡り巡って博物館へ寄贈されたようです。このピアノについては博物館の学芸員さんも中から国産の部品が出てくる事を話されました。
 もう1つは所蔵されていた銃や大砲などの武器類についてですが、これらは終戦後どこかへ持ち去られたのではなく、戦中の金属供出によって既に無かったのではないかと不思議です。後者は「一夜にして全て消え去った」という通説に対する私の疑問に答えてくれました。
 全て人手で運べるものばかりならともかく重機もない車輛も満足にない時節にそれは無理だろうという疑問です。大砲や、ましてや本当に戦車まであったとすればなおさら不可能ですし、後にどこかで発見されるはずですが。

情報としては乏しいですが、これまで伺った話から私なりに頭の中を整理するにはたいへん参考になりました。ちょっと文章が長くなり過ぎますので次レス以降に続けたいと思います。

将軍山行ってきました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月 8日(木)20時48分13秒

[返信・引用](#)

昨年IMAIさんに教えていただいて、行ってはみたものの工事中で登れなかった将軍山ですが、このゴールデンウィーク最終日に再度行ってまいりました。今回は登れました。しかもクルマでそのまま石碑まで(^_^)v
 ここもまた上川盆地を見晴らすには絶好の場所ですねー

その足で当麻の郷土資料館へも行ってみましたが、何と！？
 ゴールデンウィーク中にも関わらず「本日休館」のキャンバン・・・
 私はどうも当麻には嫌われているようです（笑）

このゴールデンウィークは結局郷土史探訪三昧でした。
 護国神社・兵村記念館・近文山・嵐山・将軍山etc・・・

護国神社・兵村記念館については懸案の旧北鎮兵事記念館についてですので、次レス以降でまた詳しく報告したいと思います。



ついでながら・・・ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月 5日(月)19時46分7秒

[返信・引用](#)

比較のために嵐山からの画像も張っておきます。
 嵐山からであれば上川盆地全域が障害なく見渡せます。



Re: 当麻町に行ってきました。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月 5日(月)19時33分55秒

[返信・引用](#)

IMAIさんこんばんは。

郷土資料館や博物館や歴史館といったところは単に見るだけでなく、そこその関係者の方に直接お話を聞くと展示品だけでは得られない色々な裏情報や経緯などを知ることができて楽しさが倍増しますよね。私も今改めてそれを感じています。

昨年秋に近文山へ行った時は木の葉が生い茂ってほとんど見通しがきかなかったの
で、
今日、再度行って撮影してきましたので張っておきます。
ここからは当麻・愛別・比布方面は全く見る事はできませんよね。



当麻町に行ってきました。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 5月 4日(日)23時28分50秒

[返信・引用](#)

3日に当麻町の郷土資料館に行ってきました。
管理人さんより興味深いお話を聞きましたので

屯田兵屋の建設に樺戸集治監の囚人を使い兵屋を建てた。
当時は当麻山ではなく囚人山と呼ばれその麓に囚人の
飯場小屋の集落があった・・・・・・
その集落跡は住宅地になり特に記念碑等も無く
口伝えの情報だそうで
そんなお話を聞きました。

国見の碑・・・・・・
確かにあの場所から市内を見渡した時に違和感を感じていました。



国見の碑の場所は間違い？ 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 5月 4日(日)10時47分25秒

[返信・引用](#)

北海道経済誌 5月号に旭川大学の浅田教授による論説に関する興味深い記事が載っていました。

現在近文山山頂に建っている国見の碑は実際に国見が行われた場所とは違うのではないかと、いうものです。

大量スパムによって古い書き込みが消えてしまいましたが旧掲示板でもどなたか触れていたと思います。

(おたまZさんだったでしょうか？間違っていたらごめんなさい)

記事を読んで行くとほとんどが御説ごもっともと思われる内容で、
実際問題、近文山山頂から見渡せるのは上川盆地の南側半分のみですし、
さらに全体を見渡そうと思ったら嵐山まで向かおうとするのは昔も今もごく自然な行動だと思います。

地理事情に明るい上川アイヌが案内に付いていたのですからなおさらです。

また旭川市史によれば国見の一行は、

「早朝ハルシナイを出発し上川に達すると直ちに近文山へ」「午後下山」とありますから、

ハルシナイ（春志内）からさらに近文山山麓まで数キロ石狩川を遡り、獣道を掻き分けて山に登ったとしても、

日の出と共に出発すれば午前9時～11時くらいには山頂に着いていたと思われま

す。
下山が午後の何時頃なのか分かりませんが少なくとも山頂付近で数時間の時間があったはず

です。
その数時間を山頂の同じ場所に留まっていたとは逆に考えづらく、

尾根伝いに数百メートル歩けばたどり着けるより見晴らしの良い嵐山まで行った事は容易に想像できます。

浅田教授の説のとおり当時はまだ嵐山の名はなく、この近辺の広い地域に渡り「チカプニ」と称してましたから、

いわゆる「近文山からの国見」というのは嵐山までを含んだ「チカプニからの国見」だったと私も思うのです。

ただこの事を指して「新説」だとか「間違い」と言うのには少々異論があります。
嵐山もチカプニなら近文山もチカプニには違いないのですから国見の碑がどちらの峰に建っていてもおかしくないし少なくとも間違いではありません。

記事中では石碑運搬のため雇ったアイヌ人の「職場放棄」などに触れて現在の場所に至った経緯を推論していますが、

それと同時に石狩川から登って最初の峰である現在の近文山を選んだ可能性にも触れています。

私はどちらかと言えば後者を探ります。

道なき道を苦勞して登り最初に上川の原野を見渡せた時の感動がやはり一番大きかったのではないかと想像します。

何よりもこの碑の建立を命じた本人である岩村通俊が建立後にこの碑を確認してお

り、
 その後も移設を命じなかった事がそれを物語っているのではないのでしょうか。
 またそれまでのチカプニを漢字表記「近文」としたのも岩村通俊自身である事を忘れてはなりません。
 つまりこの時に今の近文山の漢字表記も確定したと言えます。

あと補足ながら・・・
 この記事を読む限り「上川原野見取図」があたかもこの時の国見のみによって作成されたように受け取れますが、
 この見取図を描いたとされる福土成豊は、高橋不二雄と共に国見の前年にも上川へ測量調査に来ており、
 この時は石狩川水源まで遡り旭岳へも登頂してこの地方のかなり精密な地図やスケッチを作り上げています。
 またその後この時の調査を元に緯度経度まで入った「改正北海道全図」を完成させています。
 つまり仮に国見の時に嵐山まで行ってなくとも彼にとっては既に調査済みであったと推察できます。
 まさか私のようになにか郷土史愛好家などとは比べものにならない調査をした上での説でしょうけども、
 「嵐山からでなければ見えない」というのがこの説の根底にあるだけに非常に気になるどころです。

ありがとうございます 投稿者: [ほろきねえね](#) 投稿日: 2008年 4月29日(火)16時45分34秒

[返信・引用](#)

momonga様、こんにちは、ほろきねえねです。
 そうですか！まだ残されていましたか！
 まだ中学生の頃だったか、自転車で見に行ったんですよ。
 あの頃から鉄道に興味を持ったのかもしれませんが、
 もうなかなか北海道へは行ける機会もなくなりましたが、
 神楽・神楽岡はもちろんですが、留萌・興部も行ってみたい街です。

また、お邪魔しに来ます。

Re: 神居にあった 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 4月29日(火)11時53分4秒

[返信・引用](#)

ほろきねえねさんこんにちは。
 忠別太駅通でしたら神居1条1丁目の旭川大橋のすぐ袂にちゃんと残されていますよ。
 旭川市の文化財として保存されています。
 かなり前ですが確か復元修復しているのでもしかしたら場所が多少変わっているのかもしれませんが。
 周りは旭川大橋の道路の土手と一般住宅に囲まれてしまっているのでもちよと分かりづらく目立たない所です。

私も昨年小学校の大半を過ぎたマチをウン十年ぶりで訪れてきましたが、あまりの変わり様に驚きました。
 山ばかりの小っちゃな炭鉱町なんですけどね。
 それでも懸命に記憶を辿ってわずかに残る昔の面影を追う内にあっという間に1日が過ぎてしまいました。
 今年は中学2年までの2年半を過ぎた港マチを訪れてみようかと計画しています。

神楽・神楽岡・緑が丘方面も20年前とは大きく様変わりしていますよ。
 北彩都計画に伴って駅裏側の忠別川付近は橋が架かり今後さらに大きく変わって行くと思います。
 富良野線は相変わらずですが緑が丘駅が新設されたり西御料駅も新しくなり元気です(笑)
 ほろきねえねさんも是非今度はゆっくりと旭川を訪れてはいかがですか？

神居にあった 投稿者: [ほろきねえね](#) 投稿日: 2008年 4月28日(月)23時30分19秒

[返信・引用](#)

momonga様、難しい名前が出ています、ほろきねえねです。(^^;)
 旭川を出て、20年以上経っています。
 実は2年ぐらい前に旭川へ行きました。

と言っても、叔父の不幸があり、とても旭川の街を散策する時間がなかったのです。

それでも、ディーゼル特急から見た曙町・忠別橋・神楽の様変わりは驚きました。旭川へ着いた時は吹雪でしたが、うれしさの余り北門町まで歩いて行きました。ちょうど雪祭り前で旭橋のふちで雪像を作っていたのにはビックリしました。昔は公園内でしかやってなかったのに。時間があれば、生まれ育った神楽・神楽岡周辺を見てみたかったです。

ところで、ご存じでしたら、教えて下さい。
むか〜〜しに神居十字街から忠和の12号線へ向かって12号線手前に昔の駅馬車場があったと思うのですが？
どこかに移設されたのでしょうか？

Re: (無題) 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年4月26日(土)13時59分45秒

[返信・引用](#)

tomoさんお久しぶりです。
しばらく音沙汰が無かったのでちょっと心配しておりました。
私も博物館へ行って以降休日はプライベートの用事が重なりまだ護国神社へは行けてません。
また何か分かりましたらこの掲示板でお知らせしたいと思います。

春光台配水場の内部・
実は私も写真でしか見た事がないので是非一度見てみたいと思っています。
普段は見れませんがたまに見学会などが催される事があると聞きます。
珍しい施設なのだからもっと一般市民が見学できる機会があるといいですね。

Re: 旭川車両センター 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年4月26日(土)13時20分11秒

[返信・引用](#)

ほろきねえねさんはじめまして。なんだか難しい名前ですね(^_^;) 突然の投稿申し訳ないなどともありません。大歓迎です。

旭川車両センター（旧国鉄旭川工場）付近は北彩都＝駅周辺再開発で様変わりし昔の面影はもうありません。
わずかに木機・乾燥職場のレンガ棟2棟が残されているのみです。（これは保存が決まっています）
跡地には常磐公園にあった科学館が移転し国の合同庁舎や福祉施設が建ち、間にはだだっ広い庭園が広がっています。
神楽橋は歩行者用として残されていますが隣に上川神社に向けてド〜んと新しい橋が架けられました。
合同酒精・ホクト電子は工場は改修されていますがそのままですヨ。

駅付近の高架はほぼ出来上がっており今は新しい高架駅の工事が始まっています。当掲示板の最初の方にあるように旧運転所跡に最後まで残っていた扇形車庫も昨年秋とうとう取り壊されてしまいました。

旭川を離れてからは旭川を訪れていないのですか？
もう既に昔の面影はほとんどなくなりつつありますが、あと2〜3年で「これがあの旭川駅裏か？」となるのは間違いないでしょう。

(無題) 投稿者: [tomo](#) 投稿日: 2008年4月26日(土)01時19分55秒

[返信・引用](#)

お久しぶりです。
本日は近文の配水場（旧軍施設）を見てまいりました。
現在北鎮記念館裏の旧師団長官舎門柱及び春光6区にあります
旧師団司令部庁舎の門柱のレンガ造りがそのままという感じがしてとても関心をもって見学してまいりました。
特に、momongaさんの文章を読んでからのお出かけでしたので地下ではどんな風に水が貯水されてるかなど考えただけでわくわくしておりました。

またおじゃまします。

旭川車両センター 投稿者: [ほろきねえね](#) 投稿日: 2008年4月25日(金)13時38分41秒

[返信・引用](#)

管理人様、突然の投稿に申し訳ありません。
 日本国有鉄道旭川車両センターで検索していましたが、こちらにたどり着きました。
 実は元職員（JR後退職）でありまして、センターの歴史を見させて頂き、懐かしく思いました。
 多分、当時は諸先輩方々から歴史等も教えてもらったと思うのですが、すっかり記憶から消えておりました。
 懐かしく思います。
 旭川を出て既に20年以上経っておりますが、センター周辺はもちろん、当時の国鉄・JRの建物もかなり変わっているのでしょうか。
 合同酒精工場、ホクト電子工場等々

またお邪魔しに来ます。

思いがけぬ？返信 投稿者: momonga  投稿日: 2008年 4月24日(木)20時54分33秒


[返信・引用](#)

旭川市のHPに「まちづくり電子提案箱」というのがあります。
 何年も前からあるにはあったのですが、以前は「提案は関係部署に伝えますが特に返信はいたしません」という、
 いかにも最初から一応聞くだけは聞いとくがやる気はありませんよと宣言してるようなものでした。
 実際に投稿した事がありますが確かにその通りナシノツブテでした（笑）

今の市長になってからHPに市長室サイトが設けられており、やはり提案箱へのリンクが貼られています。
 以前と違っているのはそこに「市長が読ませていただくとともに・・・」とあります。
 試しに今年の1月再度投稿してみました。
 内容は以前提案したものと同じものです。いえ、けっして意地悪でやってる訳ではないですよ^^;

やはり暫く音沙汰がなかったので半分忘れかけていたところへ先日市役所から1通の封書・・・
 何と！市長名で窓口の広報課と担当部署である都市計画課・土木建設課からの返答でした。
 たいへん丁寧な文面でしかも嬉しかったのは在り来たりの定型文ではなく紛れもなく自分に対する「返信」でした。
 想定外だったのは他にも意見が出ているらしく後日話し合う機会を設けるとの事。
 という事はつまり検討してもらえるものと受け取りました。
 さて、どんな事になるやら楽しみです。

どんな提案かって？
 数年前から拡幅整備中の神楽三条通りの名称についてです。
 住所そのまんまの通り名じゃあまりにつまらんから「上川離宮通り」か「離宮通り」にしたら？と提案しました。
 もちろんそんなぶっきらぼうな文面ではなく自分なりの蘊蓄を付け加えました
 が・・・
 理由はこの通りの上川神社との位置関係と当サイトを詳しく見ていただければ分かると思います。
 町名の頭文字を連ねただけとか、工事屋が使う仮称のような通り名をそのまま使われるのは論外ですが、
 どこのマチにも見られるようなありきたりの今風の名称を新たに付けられるのも正直うんざりです。
 そろそろ旭川固有の歴史・伝統に由来する名称を意識して良いのではないのでしょうか？
 これまであまりに安易に開拓以来の伝統を軽視し過ぎです。

Re: 春 投稿者: momonga  投稿日: 2008年 4月21日(月)23時00分14秒

[返信・引用](#)

じゃあ、たぶん同じ花ですネ。
 珍しいには違いないけど毎年同じところで咲かせるみたいですから。

Re: 春 投稿者: IMAI 投稿日: 2008年 4月20日(日)21時59分8秒

[返信・引用](#)

> [No. 66\[元記事へ\]](#)

この白いカタクリは売店の近くで毎年同じ場所に咲くいちりんで
売店のスタッフによると今年は一週間ほど咲くのが早いそうです。

Re: 春 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 4月20日(日)10時38分38秒

[返信・引用](#)

お！
白カタクリをゲットしましたね！
私も昨年初めて見ましたが、同じ場所かな？

一昨年・昨年とゴールデンウィークが見頃だったことを考えると今年はかなり早い
ですよ。男山も年々訪れる人が多くなってる気がします。

春 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 4月19日(土)14時02分30秒

[返信・引用](#)

本日、男山自然公園に行ってきました。
カタクリの花が満開で新聞社やテレビ局の取材クルーも見かけ
にぎわってましたyo~



嬉しかった話題 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 3月12日(水)22時57分3秒

[返信・引用](#)

博物館学芸員の方との歴史談議の中で一つだけ貴重な収穫がありました。
旭川の名の由来に関してです。

私の旭川の名の由来に対する認識は当サイト主要コンテンツである「旭川の名の謎」の通りです。
実はこのコンテンツはそれまで自分なりに収集した断片的な情報を元に推論したものであったのですが、その後、元旭川市郷土博物館館長であった故松井恒幸さんの文献に出会い、あまりの共通点に自分でも驚いたものです。

もちろん松井恒幸さんは私のような者とは比べようもない綿密な調査を基に語っています。

今回この点について触れたところ、
何と！博物館側としては現在もなおこの松井恒幸さんの説を継承してるとおっしゃるではありませんか。
これは私にとってたいへん嬉しいニュースでした。
巷ではほとんどがアイヌ語の意識に由来する「日の出」説が一般化する中、少なくとも博物館側ではそうは見えていないという事が分かっただけでも大きな収穫でした。

ただこの分野では市史編纂と並び旭川市の唯一の専従専門機関であるはずの博物館の見解が、
何故に市の公式見解として全く表に出て来ないのかという疑念は相変わらず残ります。

博物館へ行ってきました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 3月12日(水)21時14分12秒

[返信・引用](#)

tomoさんには一足先にメールにてお知らせしましたが、
博物館の学芸員の方とお話ししてまいりました。
目的はもちろん旧北鎮兵事記念館の所蔵品の内容と行方についてです。
突然の飛び込み訪問にも関わらず小一時間の郷土史談義となってしまいました
(笑)
しかし残念ながら肝心のこの件について得られた情報はほとんど無しでした。

当初、旧兵事記念館を博物館としたのは単に旭川市が建物を借受ただけであり、
その時点で既にそれまでの所蔵品というのはほとんどが行方知れずになっていたとの事です。
また旧兵事記念館の実態を記すようなこの時代の文書類も旧師団と同様ほとんど残っておらず、
その意味でも「第七師団歴史」が残ったのはやはり奇跡に近いとおっしゃってました。
この分野を担当されている学芸員さんとしても調査に非常に難儀しているとの事で、
逆に「何か情報が掴めましたら是非お知らせください」とまで言われました(笑)
馬鹿げた事ですが、実はどうやらこんなところにも政教分離とやらが存在するのも一因のようです。

また博物館は、旧兵事記念館時代、偕行社時代、そして現在と、人的には繋がっているものの、
展示物についてはそれぞれスクラップアンドビルドの関係で特に関連性を持っていないとの事。
良い悪いは別として確かに少なくとも偕行社時代と現在とでは大きくポリシーが異なっている事ははっきり分かります。
現在はほとんど自然博物館といった趣です。
今頃気付きましたが、偕行社時代は「郷土博物館」だったのが今は「郷土」が外されていたんですね。

いずれにせよこの件はもう少し時間がかかりそうです。
この時代を知る年配の方に話を聞くのが一番の早道のような気がしますが、
本丸護国神社にも一応当たってみたいと思います。

Re: 将軍山 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 3月10日(月)01時12分13秒

[返信・引用](#)

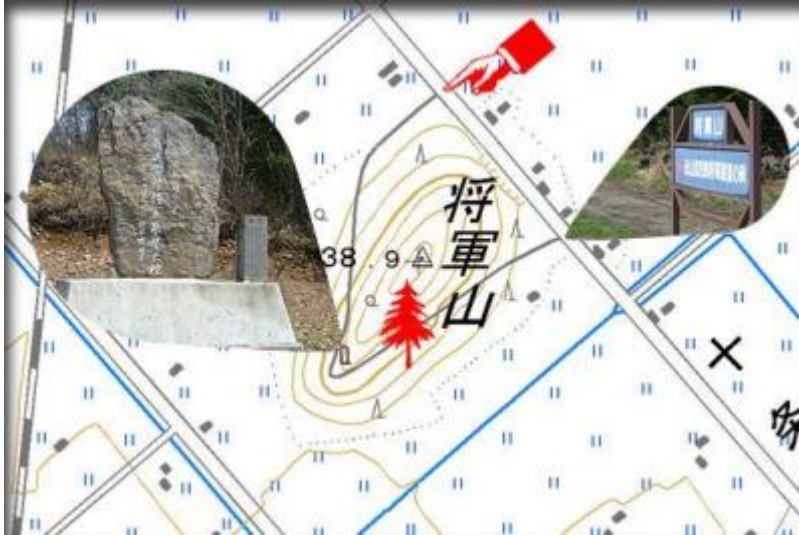
I M A I さんこんばんは。

昨年将軍山へ行った時には通行止めで他に登り口がないか一応は探したのですが気が付きませんでした。
ちなみに自分のクルマは一応RV車です。
雪が融けて、いい季節になったらまたチャレンジしてみますネ。
ありがとうございます。

将軍山 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 3月 7日(金)21時45分47秒

[返信・引用](#)

以前お話をしていた將軍山ですが
反対側から登れば山頂迄車で行けます。
ただ大きな岩がゴロゴロしているので乗用車では車をいためるかも



分かりました。 投稿者: [tomo](#) 投稿日: 2008年 2月26日(火)06時28分13秒

[返信・引用](#)

リンクは確認させていただきました。
また、momongaさんの旭川そして北鎮記念館への愛情は十分感じております。
また、経緯をご理解いただけての「馬小屋・・・」でしたら理解できます。

旧師団司令部を北鎮記念館にと考えた趣意書がしっかりと残っておりますので
間違いありません。また、私もそれを拝見させていただいております。
ただ、なぜ使用できず、解体されたかについては分かっておりません。

Re: 馬小屋の・・・ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 2月25日(月)23時36分34秒

[返信・引用](#)

色々情報ありがとうございます。
とりあえず「馬屋に押し込められてきた記念館」へのリンクを切りました。
自分なりにある程度納得の行くまでの処置としたいと思います。

自衛隊第2師団編成後の司令部建物3階に戦前戦中の所蔵品が集められ、
それを聞きつけた方々がさらに寄贈品を持ち寄ったという話は私も伺いました。
ただ、建物については当初旧軍司令部の建物を使おうとしたという話は初めて知りました。
残念ですねえー。
もし実現していればこれまた違った見方になっていたと思います。
やはりその辺り当時の革新市政と軋轢があったという事なんではないでしょうか・・・

遠軽時代に隊員居室に使われていたというのも初耳です。
そうだったならば確かに「馬屋」というのは失礼な表現かもしれません。
しかし、サイトを含めてこれまでの私の記述を見ればご理解頂けると思いますが、
私はあくまで史実を記す貴重な品々が今の今まで粗末な建物に所蔵せざるを得なかった事に対して疑念を抱いてるのであって、
その意味からも「馬屋に押し込められてきた・・・」という表現は今後も続けたいと考えています。
けっしてそれが関係する自衛隊員の方々に対し失礼だとは思いません。
むしろそれは逆だと思います。
これは私なりの北鎮記念館に対する思い入れです。

馬小屋の・・・ 投稿者: [tomo](#) 投稿日: 2008年 2月19日(火)23時36分35秒

[返信・引用](#)

確かに元はそうでしたが、遠軽の隊員居室として使っていましたが、
たまたま隊舎改築によって不要になったようです。

ただ、いきなりそれを考えてたのではなく、まずは春光5区の
旧軍司令部庁舎（今はありません門柱のみです^^;）の使用申請を出しましたが、

旭川市が許可せず、やむなく、遠軽からの建物を利用したようです。

さらに、それ以前は現在の自衛隊司令部庁舎3階の一部屋に寄贈品を展示してたようですよ。

ここで、「馬小屋うんぬん・・・」にこだわるのは、自衛隊のそれらに従事された方にあまりにも失礼と考えたからです。また、それに寝泊りされていた方々のことを考えても・・・。

話は変わりますが、現在の博物館の関連資料の整理等は、かなり悲惨な状況のようです。博物館の学芸員の方に聞いてもそれ関連の資料がどれだけあるか正確にはやや時間を要するようです。・ ・ ・ 実際去年見られた方のお話です。（兵事記念館の終戦時の様子を見られた方のお話ですので間違いないです。）

Re: 旭川市からの・・・ 投稿者:momonga 投稿日:2008年2月19日(火)22時47分44秒

[返信・引用](#)

tomoさん、レス遅くなりまして申し訳ありませんでした。情報ありがとうございます。

平成7年ということは随分と最近になってからの事なんですね。少なくとも博物館が現在の場所に移ってからという事になります。それまでいったいどこに所蔵していたんでしょうね。まあ、今の博物館の趣向からすると縄文以前からせいぜい屯田時代までが主体であって、それ以降の近代の展示物があまりに貧弱な中、突然ステッセルのピアノなどが現れると確かに異質かもしれません（笑）

私もなかなか時間が裂けなくてやきもきしていますが、近い内にぜひこの辺の調査をしてみたいと思います。どこまでできるか分かりませんが・・・

「馬小屋に・・・」については理解をいただいたという事ではありません。馬小屋という言葉は使いましたがそれに対して説明員さんから特に指摘はなかったもので、おそらくは元々の建物が厩舎であった事には違いないからと理解しています。ただし説明員さんは、遠軽から「記念館」を移転してきたという言い方をされてました。このところ私もあまり突っ込んで聞きませんでした。もしかして遠軽時代すでにある程度の所蔵品を蓄えていたのかな、くらいに認識してます。ただ、この事はそうであったとしてもあまり重要な事ではないと思っています。

旭川市からの・・・ 投稿者:tomo 投稿日:2008年2月16日(土)05時03分11秒

[返信・引用](#)

借用している展示品の時期が分かりました。平成7年でした。また、その他のものも全て個人からの寄贈品となっております。

著名な方の文書で、私もそれを目にしたことがあります。今回momongaさんもそれを見られたのだな～と思い、差し出がましいようでしたが投稿させていただきました。旭川が好きなの同士ということもありましたが・・・。

P.S.
なぜ、momongaさんの言われる「馬小屋に・・・」もご理解いただいたのでしょうか？

分かりました。。 投稿者:tomo 投稿日:2008年2月13日(水)22時01分41秒

[返信・引用](#)

北鎮記念館のほうに出向いてらしたのですね。

また、多分一番ベテランの方に対応していただいたようで・・・。
文章ではなかなか難しいな～と思っておりましたので安心いたしました。

残った問題はなかなか難しいものばかりのようですが、
出来る限り協力させていただこうと思います。
ただ一つわかっていることは、終戦の日、一夜にして所蔵されていた
ものが消えたということです。
これは実際に見たという方のお話をお聞きしておりますので確かのようにです。
中には車輪の付いた大砲のようなものもあったようで、護国神社の池に沈められて
るとも
言われているようです。

前にもお伝えしたように、やや締め切りの迫っている仕事を抱えておりますので、
それが終わり次第、私のうろ覚えの知識を確認後、記述させていただきたいと思
います。
・・・少々お時間をいただきたいと思います。

自己確認してきました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 2月13日(水)00時16分12秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

昨日北鎮記念館の前を通ったので思わず飛び込んでしまいました(笑)
改めて何点かの展示品を確認後、説明員の方にもお手間をとらせてしまいました。
私もストレートにこのような質問をしたのは初めてです。

質問内容を要約しますと、
旧兵事記念館と現在の北鎮記念館との関連性、
遠軽から馬小屋を持ってきて北鎮記念館を創設した理由と経緯、
「第七師団史」をはじめとする主要な展示品の寄贈にまつわる経緯、
等々です。
たいへん丁寧にお答えいただきました。

結論を言えばtomoさんの言われる事とほとんど同様の答えでした。
つまり「兵事記念館と勘違いされる方が多いんですよ」というものです。
なるほど説明を聞いて私も納得しました。
少なくとも所蔵品にまつわる経緯についてはかなり私の事実誤認があったものと感
じてます。
ですからtomoさん、この点に関してのレスの必要はありません。

と同時に今ひとつはっきりしなかったのは、
旧第七師団付属施設であった兵事記念館が戦後旭川市の博物館を経て護国神社所有
となった経緯、
そして旧兵事記念館にあった所蔵品が実際にはどのようなものであってその行方
は？、です。
この点は今の博物館へ問い合わせればある程度の事は解ると思いますのでそうし
たいと考えています。
また現在非公開の平成記念館についてもできればその実態を護国神社に問うてみた
いと思います。

何よりも私が最も知りたいのは、
これまで私が知り得た情報はガセネタだったのか？という点です。
私が参考にした資料の中には郷土史家として著名な方が編纂したものもあります。
また先に挙げた地元誌は何を根拠に兵事記念館時代の展示物を自衛隊が引き取った
ように報じたのか・・・

この辺り、ある程度自分なりに納得ができたところでサイトの修正を施したいと考
えています。
tomoさんにもご協力いただければ幸いです。

(無題) 投稿者: [tomo](#) 投稿日: 2008年 2月10日(日)18時47分54秒

[返信・引用](#)

疑問点のだいたいのことは分かると思います。
それらについて再度確認をいたしまして書き込みさせていただきます。
明日から数日、頑張らなければいけない仕事が入っておりますので
週後半より、随時書き込みさせていただきます。

[返信・引用](#)

続きです 投稿者: momonga ☑ 投稿日: 2008年 2月 9日(土)23時58分40秒

tomoさん中途半端ですみませんでした。

私の北鎮記念館に対する認識ですが、
これまでに他から見聞きした情報だけで判断した部分もありますが、
それらの情報の中で自分自身の体験と合致した部分についてサイト内でやや誇張した表現になっているのも事実です。
また「馬屋に押し込められてきた記念館」というタイトルもそこからきています。

その合致した部分というのは、
昭和43年に旭川市が博物館を旧兵事記念館から借行社へ移転した2年後の昭和45年、
実は私はこの頃中学生で、博物館となった借行社のすぐそばに住んでいたので何度もここを見ているのですが、
第七師団関連やこの時代を記す展示物と言えは明治の軍服程度のもので他にほとんどなかったと記憶しています。
これは神楽に新築再移転した現在もまったく同様で、屯田兵以外の軍関連は皆無と言って差し支えないと思います。

同時に同じ時期、旧兵事記念館にも遊びに行った事があります。
かすかな記憶なのですが何やら古めかしい書物や現在の記念館に展示してある鎧兜が印象に残っています。
後に思うに博物館は既に移転してしまっていたのに何故あそこにあったのだろうか
と疑問でした。
今の北鎮記念館の新築が決まった時に地元誌でこの辺の経緯にちょっとだけ触れて
いましたが、
私としては即座に「そうか、あの時の鎧兜は置いてきぼりを食らって自衛隊が引き
取ったのか」と吹っ切れたものです。
ですからあそこに残されていたもの全部でない事は承知していますが、
当然、兵事記念館時代からの貴重な資料大半が引き取られたものと認識していま
した。
この点、私も具体的にどんな所蔵品が引き継がれたのかは確認を怠っていたと思
います。
また、兵事記念館と第七師団そのもの及び個人が所有していたものをごっちゃに
した面もあるかもしれません。

ただどうなのでしょう？「借受けている」というのは表向きの表現のような気がし
ます。
実態は「放棄された」のではないかとというのが私の認識です。
ただしtomoさん言われるようにそれが大勢に影響のない物ばかりであるならば私の
認識も変えなければなりません。

しかし私には依然として以下の疑問が残るのです。
・昭和27年、他のインフラに先駆けて市が旧兵事記念館を博物館としたのは何故
か？
・昭和38年、自衛隊がわざわざ遠軽から馬小屋を運んできてまで北鎮記念館を創
設したのはどういう理由からか？
・昭和43年の博物館移転に際して兵事記念館時代からの所蔵品は何が残っていて
どういう扱いを受けたのか？
・現在の博物館にはほんとうに兵事館時代のものが所蔵されているのか？
・現在護国神所有となっている平成館との関連はどうなのか？
・戦後の混乱期に兵事記念館から散逸してしまったと言われる所蔵品は今どこに？

ただし、これらは私自身が今後の課題として確認すべき事であって、
けっしてtomoさんにすべての返答を求めるものではありません。
もしご存知の案件があるならば是非ともご教授いただきたいと願うものです。

なんとなんと・・ 投稿者: momonga ☑ 投稿日: 2008年 2月 8日(金)02時40分52秒

[返信・引用](#)

tomoさん、実はとんでもなく詳しい方ではありませんか。
これまでの書込みから見て、てっきりご自分ではろくに確認しようともせずに希望
的憶測だけで物を言ってるものと勘違いしておりました。
たいへん失礼しました。お詫びいたします。
しかも30年も前から歴代館長さんと仲良くしてるとなるともしかして何らかの関

係者？

寄贈までしてるとの事ですが、これはまさかtomoさん本人のものではないですよ？

いずれにしても、もっと早く言っていただければ私としてもヘンな突っ張り入れなくとも済んだのですが（笑）

それはともかく・・・

これでようやくtomoさんと私の認識の差がどこにあったか見えたような気がします。

申し訳ないですが、今夜はもう夜が更けてしまいましたし明日は出張ですので続きは後日にしたいと思います。

ただひとつだけお願いがあるのですが、

もし最初からご確実な情報を持っておられるのでしたら後出しだけはやめていただけますか？

私は自分なりに知り得た情報を元に語りますが、けっして突っ張り通して論破する事を目的としません。

論・旭川のコンテンツには自分の思い入れを入れつつもできるだけ正確を記したいと思ってます。

実際過去にも当掲示板で指摘を受けて修正をしたケースがあります。

おはようございます。 投稿者:tomo 投稿日:2008年 2月 7日(木)06時45分16秒

[返信・引用](#)

早々ですが・・・。

北鎮記念館は30年ほどまえから何度も行っております。そして、歴代館長・説明員さん達とも仲良くしております。

また、何点かは寄贈もしております。

文中におけます。聞く勇気が湧かないとは、今の館長さんは1年ほどまえから勤務されている方ですので、・・・という意味でした。

いま出勤前ですので長くは記述できませんが、1つだけ・・・

兵事記念館に所蔵されたものが直接、北鎮記念館に所蔵されたものではありません。もしあるとすれば、それらは旭川市の博物館にあると思われます。

終戦後、旭川駐屯地が出来たのは昭和27年です。

また、自衛隊におけます記念館の始まりは昭和38年です。

その年数的経過をみても分かるかと思えます。

ただ、現在旭川市から兵事記念館にあったであろう所蔵品の一部を借受ているものはあるそうですが、それも開館後とおき聞きしております。ものは、ステッセルのピアノと数点の勲章などです。

momongaさんの言われる兵事館の所蔵品は旭川市がお持ちかと思えます。

所蔵品の質からいってと言われていますが、やや違うようですよ。

では、続きは夜にでも・・・。

言葉に誤解があるようです 投稿者:momonga✉ 投稿日:2008年 2月 6日(水)22時12分10秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

tomoさんこんばんは。

もう来てくれないかと心配しましたが、また書き込まれていたので安心しました。私もネットに裂ける時間が限られてますのでこうなったらゆっくりペースで議論いたしましょう。

北鎮記念館の館長さんとは、戦前戦後の記念館の存在意義は同じか別かなどという難解な話はしておりません。

する必要もないですし、いきなりそんな質問をしたらおそらく館長さんを困らせるでしょう。

なぜなら建前上、戦前の軍と自衛隊は別ですと言わざるを得ないですし、かと言ってじゃあ実際展示されている物はといえば旧軍時代のものばかりなのですから。

話した事のほとんどは所蔵品にまつわる話題であって、

今ここで話題にしてる内容にやや近い話と言え、

新築される記念館のポリシー、つまり展示内容や方法はどうなるのか、とか、

展示しきれない所蔵品は今後どうして行くのか、などが主な内容です。
 あなたが、会った事もない人を指して「絶対に言わない」とか「一番嫌う」など断定的な物言いをされましたので、
 少なくとも私は、北鎮記念館を語るに当たって館長さんの話を聞くくらいの下調べはしてますよ、という意味で持ち出したまでです。

私のレスをもう少しよく読んでいただけませんか。文章へたくそで申し訳ないですが。

どうも存在意義なる言葉を使うから誤解が生じているように思えます。
 戦前の兵事記念館、馬小屋時代の記念館、現在の記念館、
 いずれも一般向け広報としての顔を持ちつつ、他方で師団史や戦歴の編纂、所蔵品の保存といった役割を担ってきた訳です。
 その担ってきた役割が共通しているという意味で「同じ」と言ってるのです。
 ただし「広報としての狙い」は3つとも違ってきます。

- ・戦前の兵事記念館→ 師団のPRと戦歴の誇示。国威発揚。
- ・馬小屋時代の記念館→ 兵事記念館の所蔵品保存が当初の目的。その後一般にも見学できるよう分類展示。
- ・現在の記念館→ 展示内容は馬小屋時代をほぼ継承しているが、より多くの一般人が見学しやすいようにしPKO活動など自衛隊のPRも兼ねる。

tomoさんはこの「広報上の狙い」のみを指して別物と言われてるのではありませんか？

それであれば私も同じですよ。
 私が「同一視してない」とも言ってるのはそのためです。
 でもそれは一側面に過ぎないと思います。

しつこいようですが私はこの記念館の所蔵品の歴史的価値をベースに物を言っています。

極端な話、今の記念館の真の価値は古い鉄砲や銃弾を受けたヘルメットの展示にあるのではなく、

旧第七師団・北鎮兵事記念館時代に蓄えられ編纂された、史実を記す希少な史書を引き継いでいる事にあるのです。

もちろん文書以外にも貴重な品はたくさんあります。

そもそも戦後の自衛隊が馬小屋まで持って来てなりふり構わず北鎮記念館を創設したのは、

これら兵事記念館に収められていた第七師団の史実を刻む貴重な所蔵品を守り、それを引継ぐためです。

つまりまぎれもなく北鎮兵事記念館の再建ではないでしょうか。

tomoさんはこれをどこでどのように区切って別物と言われますか？

その前にちょっと気になっているのですがtomoさんは北鎮記念館に行った事があるのですか？

(無題) 投稿者:tomo 投稿日:2008年 2月 6日(水)06時37分19秒

[返信・引用](#)

「記念館ができる直前に館長さんとお話しをしております。」とありますが・・

兵事記念館が初代で、momongaさんの言われる「馬屋に押し込められてきた記念館」が2代目、そして、今の記念館が「73年ぶりに新築された北鎮記念館」と言われたということでしょうか？

私はそこが知りたいのです。
 また、それが誤解を招くと言いたかったのです・・

momongaさんの言葉を読み返す限り、存在意義は同じと言えと言いながら一方、そうではないとも言われていて、やや理解に苦しみます。

結論を出す必要はないのかもしれませんが、何も調べず、何を言ってるとお叱りを受けそうですので、兵事記念館の担当者と話するのは無理ですが、今の記念館などに出向きまして

それらについて聞いてまいります・・・・。

しかし、それらについて記述すると、どうどう巡りになりそうな感も・・・・。

さてさて 投稿者:momonga 投稿日:2008年 2月 5日(火)23時00分11秒

[返信・引用](#)

私も困ってしまいましたね。

tomoさんの言われている事こそが全てご自分の考え方と想像のみで語っていませんか？

momongaの言うようなことは絶対に言わないと思います嫌うと思いますとおっしゃいますが、あなたは戦前の兵事記念館、馬小屋時代の記念館、そして現在の記念館それぞれの創設者あるいは関係者に直接その意図を確認したとでも言うのですか？しかも充分可能なはずの現在の記念館にすらご自分では聞きに行く勇気がないとおっしゃる・

もし違っていたら悲しすぎるとまで言われる・

これは言葉としてあまりに失礼だと思いませんか？

いったい何がどういうふう悲しいんでしょうか。ご自分の考えと違うからですか？

少なくとも私は現在の記念館ができる直前に館長さんとお話しをしております。また、当然自分でもできる限りの史実の下調べはしてるつもりです。もしあなたが私の知らない存在意義を知っているのでしたら書込みを控えるなどとは言わず是非ともそれを提示していただけたらと思います。

再度これだけは繰り返しておきますが、

私は戦前の北鎮兵事記念館と戦後そして現在の北鎮記念館とを同一視はしておりません。

あくまで現在までに残された所蔵品の歴史的価値と重要性、

そして兵事記念館に始まった北鎮記念館そのものの歴史について語っております。

早々のご回答感謝いたします。 投稿者:tomo 投稿日:2008年 2月 5日(火)21時33分28秒

[返信・引用](#)

困りましたね・

momongaさんのお考えは、そうだと決めつけているように感じます。

時代は異にしてはおりますが、それぞれの創設者及び関係されております方々はどう考えているでしょうか。

多分、momongaさんの言われるようなことは絶対言わないと思いますし、私見ですが、そのように見られることを一番嫌ってると思います。

試しに、momongaさんの考えを今の記念館の方に話してみてもいいと思います。

最終的には、その方々の返答次第だと思いますし、戦時中における北鎮兵事記念館と北鎮記念館の存在意義は別・異なるものとする者としては、それを願うばかりです。

私としては、それを今の記念館に聞きに行く勇気が湧きません。

もし違ったら、あまりにも悲しすぎるからかもしれません。

momongaさんの言うように広報館だから、存在意義も同じとの考えにやや違和感を感じておりますし、文中におけます「73年ぶりに新築された北鎮記念館」は間違いだと思えます。

このことに関する書き込みはもう控えたいと思います。

今、書き込みにおけます数々の失礼をお許してください。

Re: 北鎮兵事記念館×北鎮記念館 投稿者:momonga 投稿日:2008年 2月 5日(火)20時24分47秒

[返信・引用](#)

おっと、いきなり根っこい質問が来ましたね(笑)

正直びっくりしました。いや、失礼。m()m

存在意義と問われるとなかなか答えが難しいですが、おっしゃる通り現在の記念館は自衛隊の広報館としての側面が強いです。展示されている所蔵品も過去の戦争の遺品的性格のものが多いですし、戦後になって寄贈されたものが多いのも事実です。

当然ながら全体的に戦争を過去のものとして取り扱った展示方法が採られています。

これに対し戦前の兵事記念館は、私ももちろん直接見た事ある訳ではありませんが、当時の世相から言っても武具や師団の戦歴を誇示した内容であったろう事は想像に難くありません。おそらくそうだったのでしょ。これは言わば過去形と現在進行形との違いかと思えます。ただ、戦前と戦後で展示内容やその意図するところは大きく違えど、一般に対する広報という意味では同じと言えると思います。

当サイトの北鎮記念館のくだりはけっしてこの二つを同一視するものではありません。あくまで残された所蔵品に対する歴史的価値を訴えているつもりです。特に重要なのは軍史や軍歴・軍令を記す機密公文書類で、これらは国内の他の師団では大半が破棄されてしまっていて残っているものがほとんどないとの事です。北鎮記念館1階に展示されている「師団歴史」も何故か当時の軍の機密文書で、本来破棄されるべきところを軍の職員が命を賭けて隠し持っていたものです。もしこれが軍関連のものでなければとくに国の重要文化財ものだと聞いた事があります。

現在、北鎮記念館に展示されている所蔵品は約2000点との事ですが、実際には5000点の所蔵があるそうです。つまりこの手の施設は人受けの良い展示品の裏側で真の歴史を刻む作業が行われているのが常かと思えます。これは想像になりますが、戦前の兵事記念館も表では威勢のよい武具や戦勝歴を並べていても、その実、裏側では地道な軍歴の編纂作業が行なわれていたのではないかと思われます。だとすれば、表向き広報としての形相は現在と大きく違っていても、存在意義という意味においては同じと言えるのかもしれない。

北鎮兵事記念館 × 北鎮記念館 投稿者: [tomo](#) 投稿日: 2008年 2月 4日(月)21時06分44秒

[返信・引用](#)

北鎮記念館のことが出ましたので、お聞きいたします。

北鎮兵事記念館と北鎮記念館は文中で見える限り、同一のものであり、それを自衛隊の北鎮記念館は受け継いでいると読み取れるのですが・・・。

私の知る限り、「北鎮」という名は同じでもその存在意義、所蔵品の質は異なる物と考えておりました。それらを知る人から聞いた話ですが、北鎮兵事記念館の制作は各家庭から、いくらかの寄付により造られ、その所蔵品は戦勝記念品が殆どとお聞きしました。

一方、北鎮記念館の所蔵品の殆どは遺品であり、その所有者が高齢のため、孫子の代では理解しがたく、粗末になってはとの気持ちから寄贈しているのが殆どと、お聞きしております。

北鎮記念館は基本的には自衛隊の広報館だと思います。しかしながら、展示できないかもしれませんがとの説明を受け、寄贈という形でそれらを大切に保管していただけるとお聞きしております。

表現に乏しく申し訳ございません。以上のことから、その存在意義自体が違うように思えるのですが・・・。

どうぞどうぞ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 2月 4日(月)01時04分5秒

[返信・引用](#)

tomoさん、質問大歓迎です。私にわかる範囲なら精一杯お答えしますヨ。

春光町の街路に興味があるのでしたらぜひ北鎮記念館へ行かれたら良いと思います。

旧第七師団全景のパノラマ模型が展示されています。
現在の春光町の街並みがほとんど旧第七師団そのままという事が一目で分かりま
すよ。
当サイトにも第七師団時代の地図くらい載せれば良かったんですけどネ。m()m

Re: はじめての投稿です。 投稿者:tomo 投稿日:2008年 2月 3日(日)23時53分5秒

[返信・引用](#)

> [No. 42\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

早々のお返事、書き込み感謝いたします。
本当に楽しく拝見させていただいております。
momongaさんは本当に旭川が好きなんだな〜って感じてるんですか・・・。
ちなみに、私も旭川は大好きです。

サイト中にありました、みよーに広い道路、いつも気になってましたが
こんな理由があったんだ〜って、ものすごく感心いたしました。
最初は旭川市が防災の観点から広い道路をとところどころに造ってる
くらいににしか思ってたのですが、サイトを見て目がウロコ状態でした。
はなはだお恥ずかしい無知な人間でした・・・勉強になります。

まだサイト全部を見ておりませんので（いっぱい有りすぎて^^;）
見終わりましたら質問などさせてもらってよろしいでしょうか。

tomo

《[前のページ](#)》 [23](#) [24](#) [25](#) [26](#) [27](#) [28](#) [29](#) [30](#) [31](#) [32](#) [次のページ](#)》
 以上は、新着順1501番目から1550番目までの記事です。

/ 32 [ページ移動](#)

新着順 投稿順 [表示切替](#)

[【論・旭川】HPへ戻る](#)

[管理者へメール](#)

[RSS](#)

[管理者メニュー](#)

[自分の投稿の編集](#)

[teacup.レンタル掲示板](#)